

2026

Congratulations
for
coming of age

令和8年度

～あなたに出逢えたこの町で～

秋葉区二十歳のつどい

【日時】令和8年5月3日(日・祝)

開場:午後1時30分

式典:午後2時～2時45分

【会場】新潟市秋葉区文化会館 ホール

式典次第

1. 開 式
2. 記念合唱 …………… 「あなたに出逢えたこの町で～にいつのうた～」
(新潟市立新津第一中学校合唱クラブ)
3. 式 辞 …………… 新潟市秋葉区長 長崎 忍
4. 祝 辞 …………… 新潟市議会議員 倉茂 政樹 様
秋葉区自治協議会会長 渡邊 彩 様
5. 来賓紹介
6. 二十歳のことば …………… 二十歳代表 小川 千乃 さん
二十歳代表 川内 颯也 さん
7. 閉 式

★ステージ上で記念撮影タイム(式典終了後)

2026

Congratulations for
coming of age

皆さん、 おめでとうございます!



新潟市秋葉区長
長崎 忍

新潟市秋葉区(旧新津市)出身・在住。
大学で建築・都市計画を学び、卒業後にゼネコンで
工事現場管理を担当。
30歳で新潟県庁に転職。40歳で新潟市役所に移籍し、
秋葉区役所地域課長・産業振興課長、保健所環境衛生
課長を経て、2022年4月から秋葉区長。一級建築士。

区長からのメッセージ

未来を創る皆さんへ!

秋葉区で二十歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

近年は、グローバル化やデジタル化など、地域・社会が目まぐるしく変化しています。「予測不能で不確実な時代」と言われるように、世界各地での紛争や、5年先10年先を見通すことが難しいからこそ自分を信じ、自分の好きなコト、信じるコトを探究し磨き続けることが求められます。きっとその先に、皆さんを必要とする人や役割が、地域・社会に現れるに違いありません。

秋葉区では、令和8年度のスローガンを「フレイル予防で健康長寿、こども真ん中の秋葉区づくり」として、トライ・アンド・エラーで挑戦しています。二十歳を迎えた皆さんにも、未来の自分のために、様々な挑戦することを期待しています。

素敵な先輩たちからのメッセージ

Q1. 秋葉区の好きなところを教えてください。(理由もお願いします)

A1) とにかく「人」がアツイ。

挑戦する人を応援する人が多くて、情熱を持っている人が多い。その雰囲気が一番表れているのが、区内のあちこちで行われているお祭り。どこに行っても、ちゃんと盛り上がってる。そこが秋葉区の魅力です。

Q2. 秋葉区で二十歳を迎えた若者たちへメッセージをお願いします!

A2) 二十歳、おめでとうございます。これからの人生に向けて、3つだけお伝えできればと思います。

① 人との縁を大切にすること

友人、仲間、家族。困ったときに支えてくれる人を大事にしてください。

② うまくいかない時間も、成長の途中

思い通りにいかないことも増えます。でもそれは、前に進んでいる証拠です。

③ 自分の人生を生きること

私が20歳のこの日、成人の言葉で話した今もずっと大切にしている言葉があります。「物質主義に溺れることなく、心身ともに健康で気骨と主体性の持ち主たれ。」自分らしく、愉しく生きてください。皆さんの未来が、実り多きものになることを願っています。



農家、秋葉区移住コンシェルジュ

高塚 紗矢香

新津第一小学校、新津第一中学校を卒業後、市内の高校を経て大学進学のため上京。卒業後は実家に戻り親元就農し、農業を営みながら地域のまちづくりに取り組んでいる。

Q1. 秋葉区の好きなところを教えてください。(理由もお願いします)

A1) 秋葉区の好きなところは、「自然の豊かさと商業の発展が両立しているところ」です。必要なものは近くで手に入るけど、周りを見れば山々に囲まれ、自然にふれながら生活ができる、というのは本当に素敵な魅力です!

Q2. 秋葉区で二十歳を迎えた若者たちへメッセージをお願いします!

A2) 「今を楽しむ、過去を懐かしむ、未来を描く」ことを忘れないでほしいです。二十歳になった皆様は、恐らく色々なことを学んで、体験してこられたと思います。それらは今後皆さんが経験するすべてに比べれば、「なんだ、小さなことだったな」と思うものかもしれません。実際、いつだって「今」が最も重要です。でも、だからこそたまには過去を思い出してほしいです。学校などで関わった人々や、かつて好きだったこと・ものなど、なんてことない過去の思い出が、ふとした拍子に自分を支えてくれます。そうして支えられた今は、またいつかの未来を支えていくのです。支えられる未来の自分は、きっとつらいことも苦しいことも乗り越えられる最高の自分になっているはず!皆様の歩まれた「これまで」が今をつくり、その軌跡が輝かしい「これから」につながりますように、皆様のご活躍を心から願っております!



株式会社パッチワーク AKIHA、
秋葉区移住コンシェルジュ

新谷 開晟

2001年生まれ小千谷市出身。高校卒業と同時に小千谷を出て、関東の大学に進学。2023年に大学を卒業して、小千谷を飛び越えて秋葉区に移住。まちづくり会社パッチワークAKIHAに所属し、秋葉区のまちづくりに向けた活動を3年間行っている。2026年からは小千谷に半分戻って放課後児童クラブに携わるため、秋葉区と小千谷の二拠点生活が始まる予定。

